

<センター通信 11月号>

中津川市地域総合医療センター 高橋春光

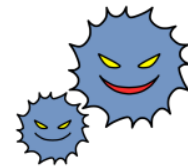


だんだん朝夕の冷え込みも強まり、今年もインフルエンザの季節がやって来ようとしています。今回は予防接種、VPD(Vaccine Preventable Diseases)」についてお話したいと思います。

はじめに

つい4~5年前まで、日本は世界的に10年以上出遅れた予防接種後進国でした。2013年に小児肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン、2014年に水痘ワクチン、高齢者に対する成人用肺炎球菌ワクチン、2016年にB型肝炎ワクチンが定期接種化され、少しずつ世界に追いついてきました。

その一方、未だ任意接種であるおたふくかぜ(ムンプス)ワクチンの接種率の低迷、抗体価が低い成人に対する対応(特に先日も残念な流行が見られた麻疹、風疹、そのほか百日咳、破傷風)、海外渡航前の予防接種の認識不足など、まだまだ課題があります。



「VPD(Vaccine Preventable Diseases)」とは？

VPDとは「ワクチンで防げる病気」のことです。世界中にはとてもたくさんの感染症が存在し、ワクチンがないために有効な予防ができず、年間何十万、何百万という人の命を奪っている感染症があります。そのような中ごく少数ですが、予防のためのワクチンが開発されているVPDがあります。

あまり知られていないことですが、日本では、欧米などの国にくらべて大変多くの子どもたちがVPDにかかって、健康を損ねたり命を落としたりしています。ひとつには、おたふくかぜ(ムンプス)ワクチンのように、ワクチンの接種率が低いことが原因としてあげられます。(NHK朝ドラ「半分、青い」のヒロインは、おたふくで左聴覚を失っています。)もうひとつの原因は、他の国では接種できても日本ではまだ使用できないワクチンがあることです。

ワクチンで防げる主な病気		
<ul style="list-style-type: none">● B型肝炎● ロタウイルス感染症(胃腸炎)● ヒブ感染症● 肺炎球菌感染症● ジフテリア● 破傷風(はしょうふう)● 百日せき	<ul style="list-style-type: none">● ポリオ● 結核● 麻疹(はしか)● 風しん● おたふくかぜ● 水痘(みずぼうそう)● 日本脳炎	<ul style="list-style-type: none">● インフルエンザ● ヒトパピローマウイルス感染症● A型肝炎● 髄膜炎菌感染症● 黄熱病● 狂犬病
● 日本で子どもがワクチンを接種できる病気		



参考：Know VPD! - ワクチンで防げる病気 (VPD) を知って子供たちの命を守る
<http://www.know-vpd.jp/index.php>

成人にも重要な予防接種

成人についても予防可能なVPD、次のような予防接種があります。

- **成人**：麻疹および風疹ワクチン(特に 30～40 代男性)、インフルエンザワクチン、百日咳ワクチン、破傷風トキソイド。
- **50 歳以上**：帯状疱疹ワクチン。
- **高齢者**：成人用肺炎球菌ワクチン。
- **妊娠可能年齢の女性**：風疹、麻疹、水痘、ムンプス(おたふく)。
- **その他**：海外渡航前(地域、リスクに応じて選択)のA型肝炎ワクチン、腸チフスワクチン。寮生活前の髄膜炎菌ワクチン。

予防接種スケジュールのポイント

上手に予防接種スケジュールを立てるためのポイントを紹介します。

1. ワクチンデビューは生後 2 か月の誕生日スタートが肝心。
2. 受けられる時期が来たらすぐ受ける。
3. 流行している VPD、かかったらこわい VPD を優先する。
4. 早く確実に免疫を獲得するために同時接種を利用する。
5. かかりつけ医、小児科に相談する。



世界中に数多くある感染症の中で、ワクチンで防げる病気「VPD」はわずかです。防げる病気を予防して、大切な子どもたちの命を守りましょう。

何かわからないことや心配なことがある方は、気軽にかかりつけ医、最寄の医療機関まで相談に来て下さい。

